

**SEPTENI**

**2022年9月期**

# **第4四半期（通期）決算説明会**

**2022年11月10日**

**株式会社セプテーニ・ホールディングス**

- 01 2022/9期 通期レビュー
- 02 四半期連結決算概要
- 03 デジタルマーケティング事業
- 04 メディアプラットフォーム事業
- 05 中期経営方針
- 06 決算期変更及び業績予想
- 07 補足資料

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております  
デジタルマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用等の買収行為に関連する損益及び株式報酬費用、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております

# 01

2022/9期 通期レビュー

収益、Non-GAAP営業利益ともに過去最高を更新  
発行済株式総数は増加するも、  
EPSは昨年実績を大きく上回る着地に

連結

収益	28,819百万円 (YoY+34.8%)
Non-GAAP 営業利益	5,855百万円 (YoY+54.2%)
1株当たり 当期利益 (EPS)	30.54円 (YoY+9.95円)

デジタル  
マーケ  
ティング  
事業

オーガニック成長と新規連結効果により  
大きく増収増益

収益 **25,862**百万円 (YoY+**37.1%**)    Non-GAAP 営業利益 **9,211**百万円 (YoY+**31.8%**)

メディア  
プラットフォーム  
事業

マンガコンテンツ事業のけん引により増収、  
赤字幅は新セグメントへの投資を含みながらも縮小

収益 **3,297**百万円 (YoY+**14.3%**)    Non-GAAP 営業利益 **-844**百万円 (YoY 266百万円赤字縮小)

うち新セグメントへの投資額 -160百万円

収益、Non-GAAP営業利益は上方修正後の予想に対して未達、  
持分法投資利益や金融収益の増加により当期利益は予想を大幅に超過

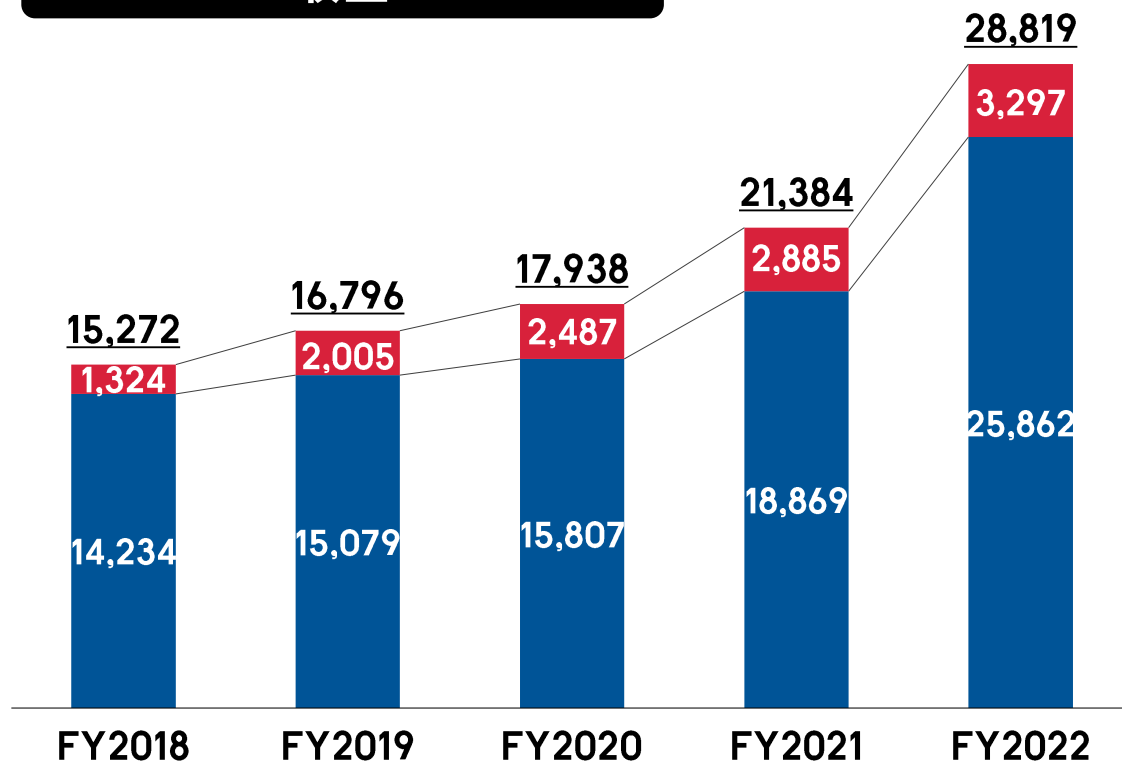
(単位：百万円)	2022年9月期 通期			2021/9月期 通期		2022年9月期 通期業績予想	達成率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	28,819	100.0%	+34.8%	21,384	100.0%	30,000	96.1%
売上総利益	22,720	78.8%	+31.4%	17,285	80.8%	—	—
販売管理費	17,058	59.2%	+24.1%	13,745	64.3%	—	—
<b>Non-GAAP営業利益</b>	<b>5,855</b>	20.3%	+54.2%	3,796	17.8%	6,000	97.6%
営業利益	5,440	18.9%	+49.0%	3,650	17.1%	—	—
金融収益	2,069	7.2%	+723.6%	251	1.2%	—	—
持分法投資利益	1,066	3.7%	+1,746.1%	58	0.3%	—	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,734	19.9%	+120.2%	2,604	12.2%	4,850	118.2%
<b>1株当たり四半期利益 (EPS) (円)</b>	<b>30.54</b>	—	+9.95	20.59	—	25.71	+4.83
【参考】売上高	131,434	—	+34.7%	97,606	—	—	—
【参考】1株当たり配当金* (円)	4.6	—	+1.2	3.4	—	—	—

※1株当たり配当金は予想値

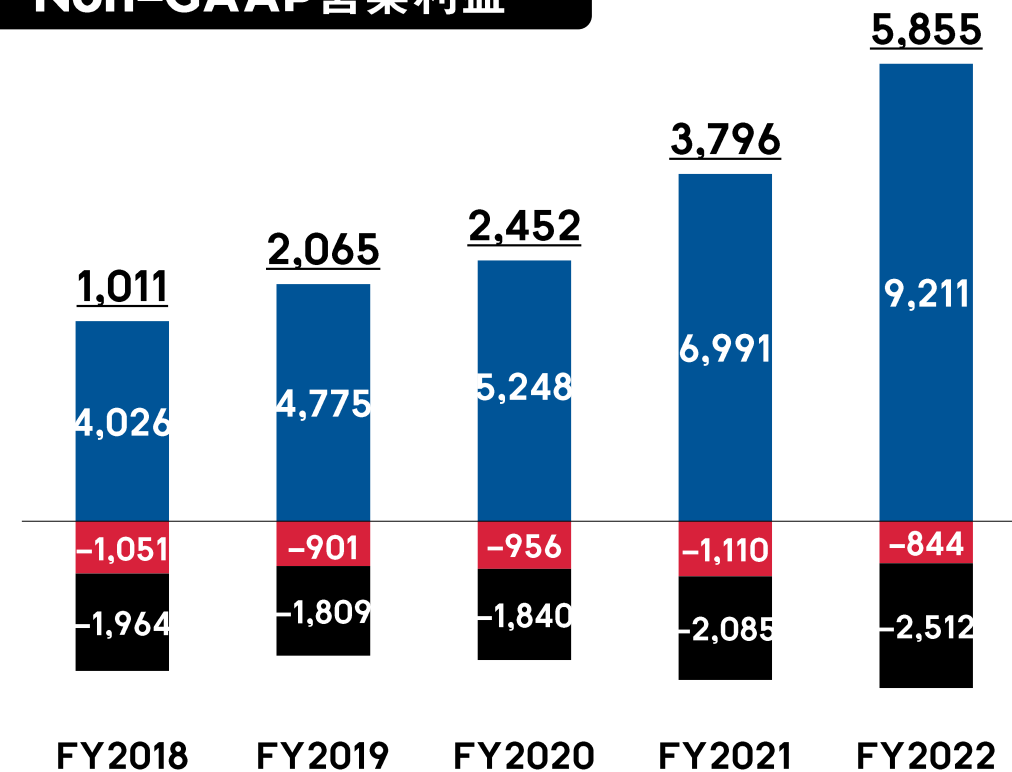
## 過去5年間で収益は約1.9倍、営業利益は約5.8倍に成長

■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額 (全社費用等) (単位: 百万円)

### 収益



### Non-GAAP営業利益

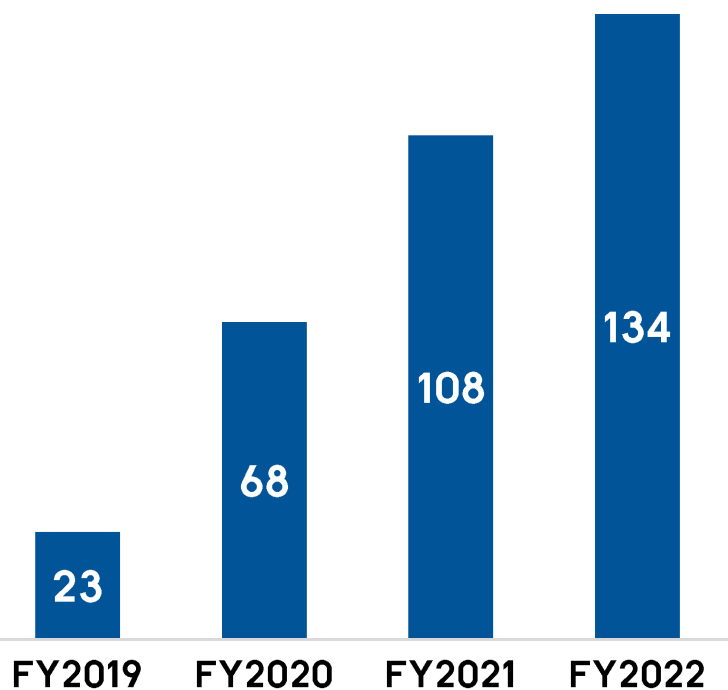


※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益 (下線付数値) は一致しない

## 電通協業が順調に拡大、 国内ブランド広告は季節要因によりYonYで減少

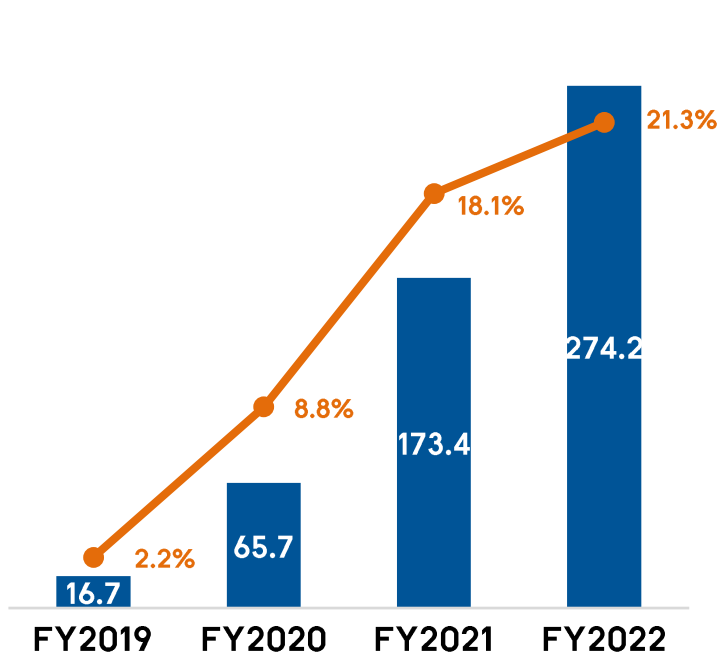
### 電通グループ協業顧客数

■ 電通グループ協業顧客数



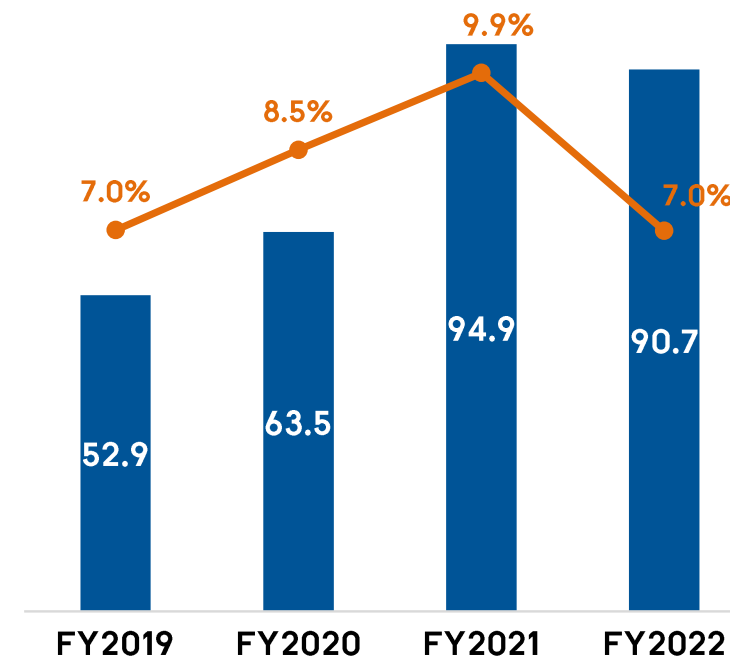
### 電通グループ協業売上推移

■ 電通提携分 (単位: 億円)  
● デジタルマーケティング事業における構成比



### 国内ブランド広告取扱高

■ ブランド広告取扱高 (単位: 億円)  
● デジタルマーケティング事業における構成比



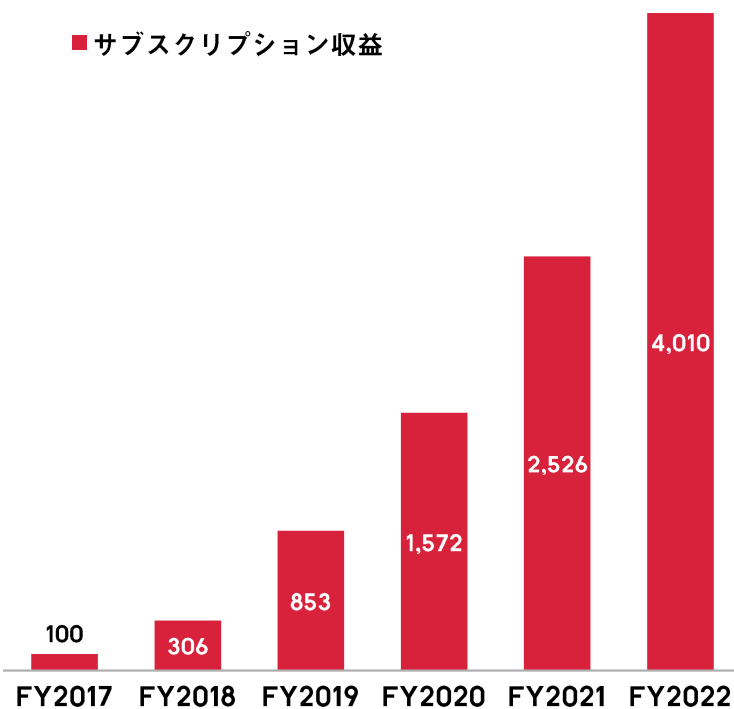


## GANMA!の各収益項目は着実に成長、 D2C事業はオンライン消費の環境変化により減収

### GANMA! サブスクリプション収益

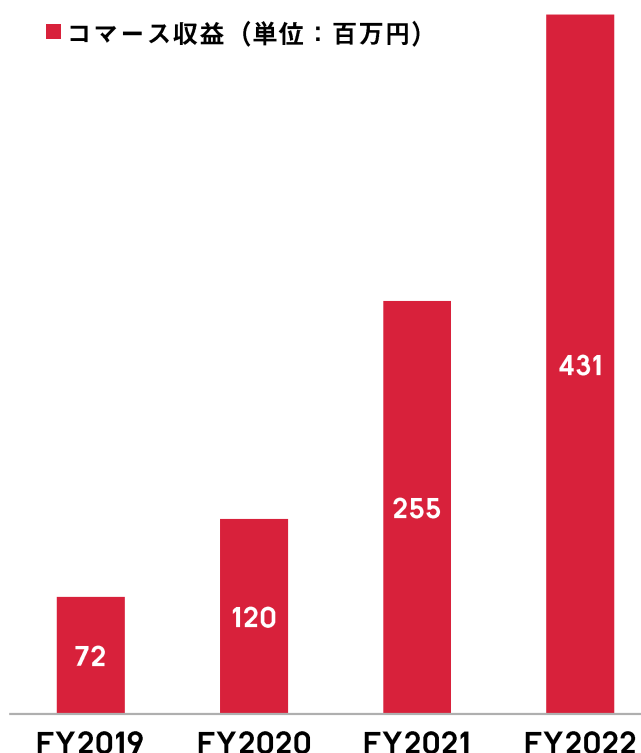
※FY2017の収益を100として指数化

■サブスクリプション収益



### GANMA! コマース収益※

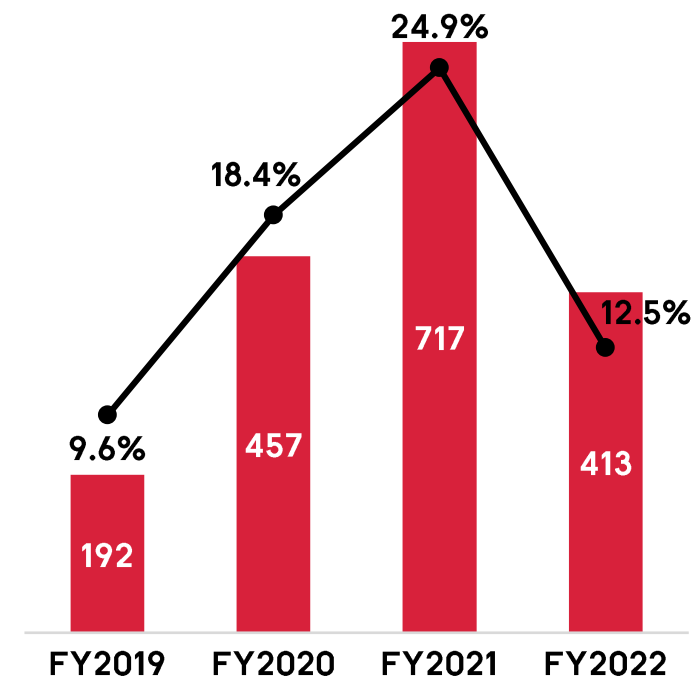
■コマース収益 (単位：百万円)



### D2C収益

■D2C収益 (単位：百万円)

●D2C比率



※コマース収益：電子書籍、クラウドファンディングを合計したコンテンツ販売収益

## HRテクノロジー事業のプロダクトマーケットフィットが順調に進捗

### Human Capital Lab

当社のコアバリューでもあるHRテクノロジーにより「人的資本の最大化」を実現するシステムの外販を目的に事業会社化  
エンタープライズ向けサービス・プロダクトを展開

### HaKaSe Onboard

AIを活用した従業員オンボーディングのクラウドサービス「HaKaSe Onboard」を提供  
早期戦力化実現のため、配属の最適化、オンラインでの戦力化促進などを支援

#### 主な導入企業（五十音順）

SUNTORY

Daiwa LifeNext®

土屋鞆製造所

ひとの  
ときを、  
想う。

JT

富士電機

YAHOO!  
JAPAN

エーグレナ

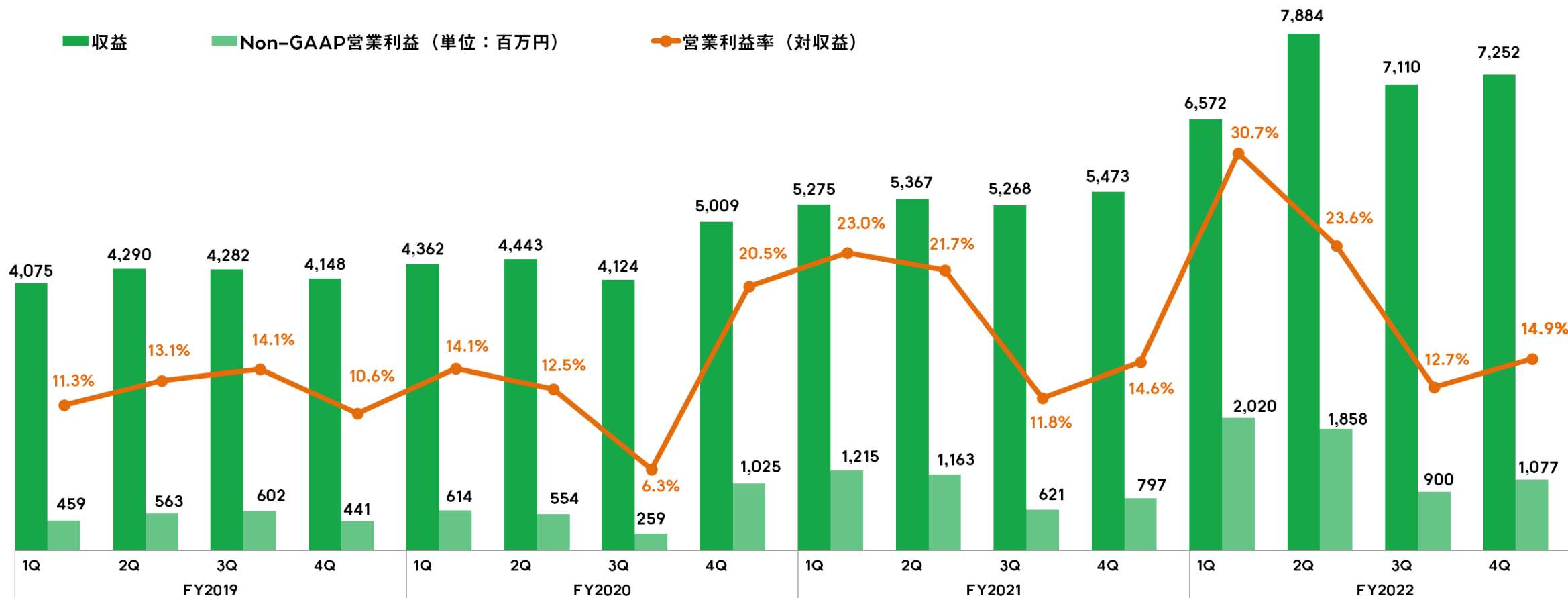
# 02

## 四半期連結決算概要

## 持分法投資利益、金融収益が大きく増加したことにより 当期利益はYonYで約4.7倍に

(単位：百万円)	2022年 9月期 4Q			2021/9期 4Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	7,252	100.0%	+32.5%	5,473	100.0%
売上総利益	5,558	76.6%	+26.5%	4,394	80.3%
販売管理費	4,543	62.6%	+22.4%	3,711	67.8%
<b>Non-GAAP営業利益</b>	<b>1,077</b>	14.9%	+35.1%	797	14.6%
営業利益	966	13.3%	+117.2%	445	8.1%
金融収益	824	11.4%	+666.7%	108	2.0%
持分法投資利益	282	3.9%	+1,319.5%	20	0.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,632	22.5%	+366.1%	350	6.4%
<b>【参考】売上高</b>	<b>32,652</b>	—	+23.9%	26,358	—

## オーガニック成長と新規連結効果により増収増益、 営業利益率も改善



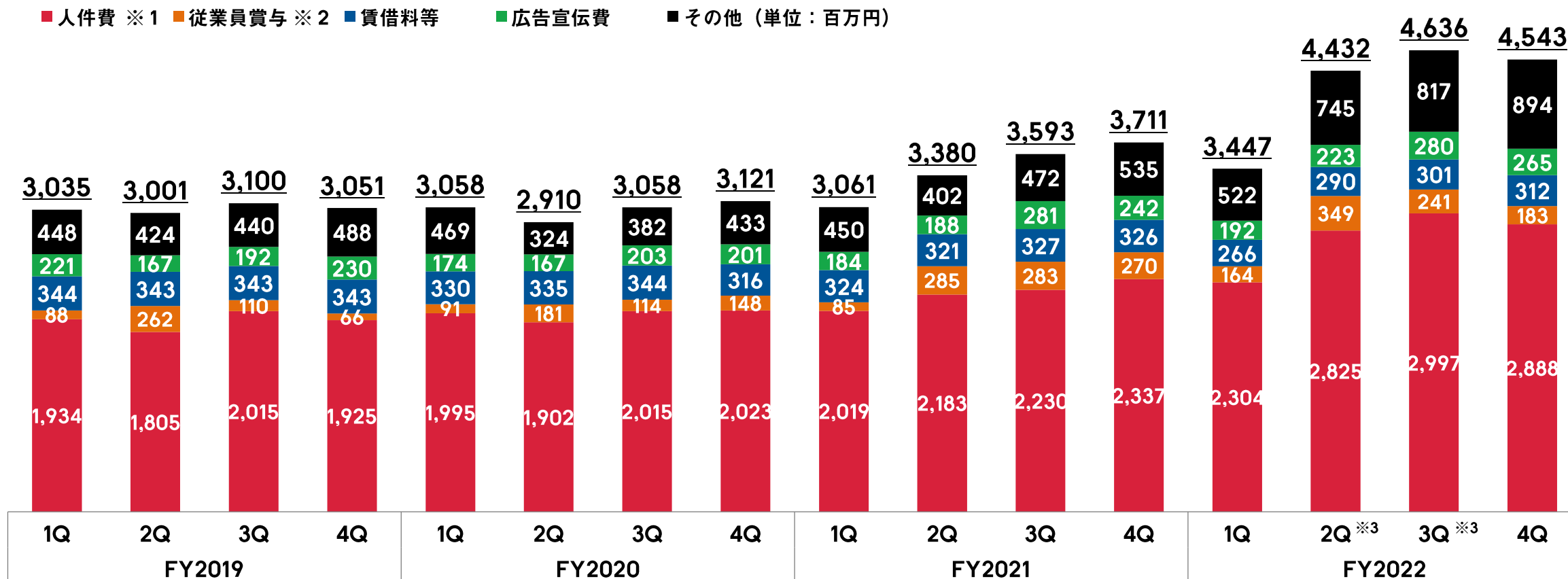
# 14 連結費用構成 (IFRS)

## 新規連結効果により外注費がYonYで大きく増加

(単位：百万円)	FY2020		FY2021				FY2022			QonQ	YonY	
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q <sup>※3</sup>	3Q <sup>※3</sup>			4Q
売上原価合計	810	869	1,005	939	1,076	1,079	1,120	1,647	1,637	1,694	+3.5%	+57.0%
人件費	268	287	296	321	347	344	364	366	388	379	-2.2%	+10.3%
外注費	138	84	240	167	204	244	294	779	632	674	+6.7%	+176.3%
その他	404	499	468	451	525	491	462	503	617	641	+3.8%	+30.4%
販管費合計	3,058	3,121	3,061	3,380	3,593	3,711	3,447	4,432	4,636	4,543	-2.0%	+22.4%
人件費 <sup>※1</sup>	2,015	2,023	2,019	2,183	2,230	2,337	2,304	2,825	2,997	2,888	-3.6%	+23.6%
従業員賞与 <sup>※2</sup>	114	148	85	285	283	270	164	349	241	183	-23.9%	-32.2%
賃借料等	344	316	324	321	327	326	266	290	301	312	+3.6%	-4.3%
販促費・広告費	203	201	184	188	281	242	192	223	280	265	-5.1%	+9.5%
その他	382	433	450	402	472	535	522	745	817	894	+9.4%	+67.1%

※1 FY2021/2Q以降はNon-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬 (BIP信託) を人件費として見積計上 ※2 業績連動賞与の見積も含む  
 ※3 FY2022/2Q、3Q実績において販管費合計とその他の金額を遡及修正

## 事業や組織規模の拡大によりその他の費用が増加



※1 FY2020/1Q、2QおよびFY2021/2Q以降はNon-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬（BIP信託）を人件費として見積計上 ※2 業績連動賞与の見積も含む  
 ※3 FY2022/2Q、3Q実績において販管費合計とその他の金額を遡及修正

# 03

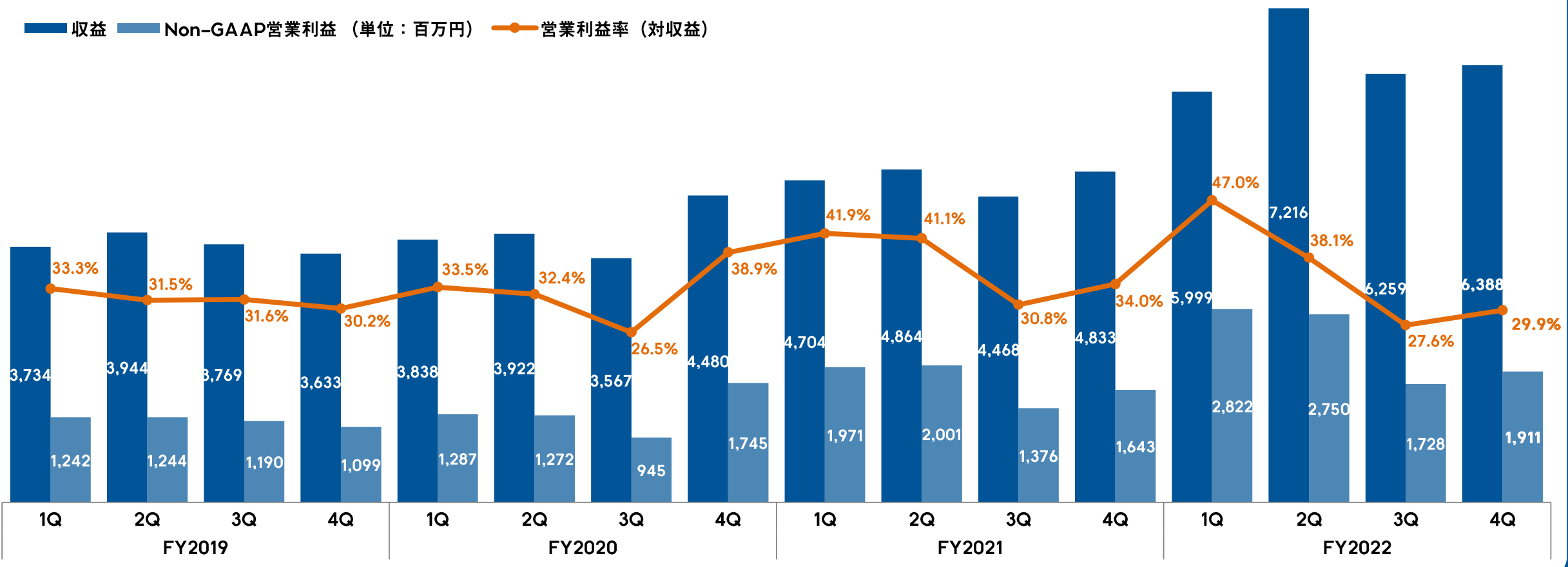
デジタルマーケティング事業



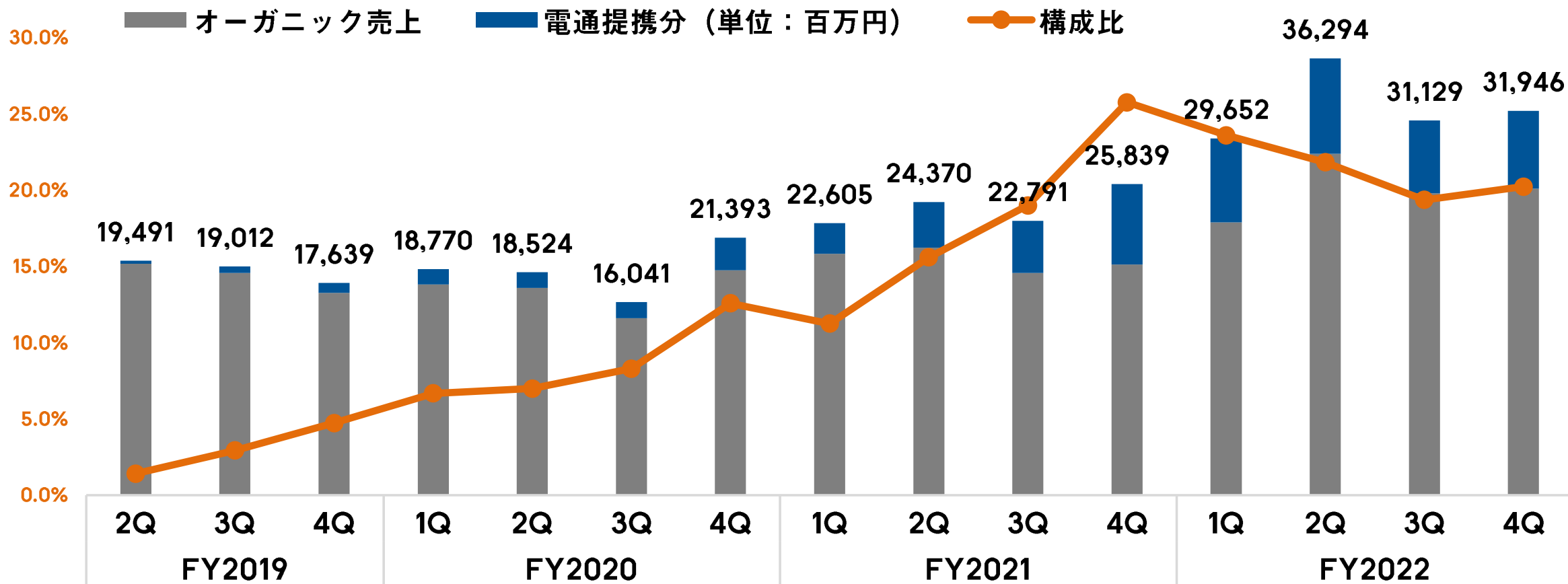
## YonYで増収増益、上方修正後の業績予想に対しては未達

(単位：百万円)	2022年9月期 4Q			2021/9期 4Q		2022/9期 通期業績予想	達成率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	6,388	100.0%	+ 32.2%	4,833	100.0%	26,500	97.6%
売上総利益	5,129	80.3%	+ 25.2%	4,097	84.8%	—	—
販売管理費	3,273	51.2%	+ 27.8%	2,562	53.0%	—	—
Non-GAAP 営業利益	1,911	29.9%	+ 16.3%	1,643	34.0%	9,400	98.0%
【参考】売上高	31,946	—	+ 23.6%	25,839	—	—	—

## トップラインは順調に拡大、今後の成長に向けた人材採用も進捗



前年同期の季節要因によりYonYではほぼ横ばいで推移、  
足元の受注活動は順調に進捗



※FY2022/2Q以降、オーガニック売上に新規連結効果を含む

# 04

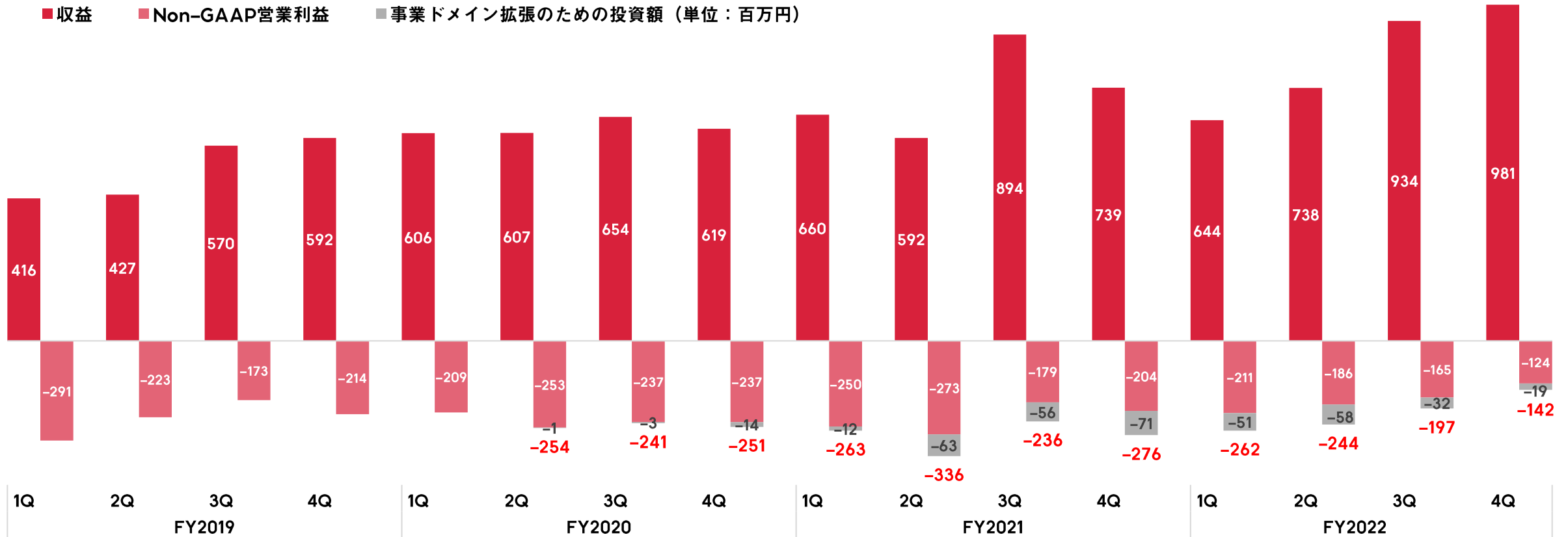
メディアプラットフォーム事業

マンガコンテンツ事業の拡大により収益は**過去最高を更新**、  
 その他D2C事業の減速により予想に対しては**未達**

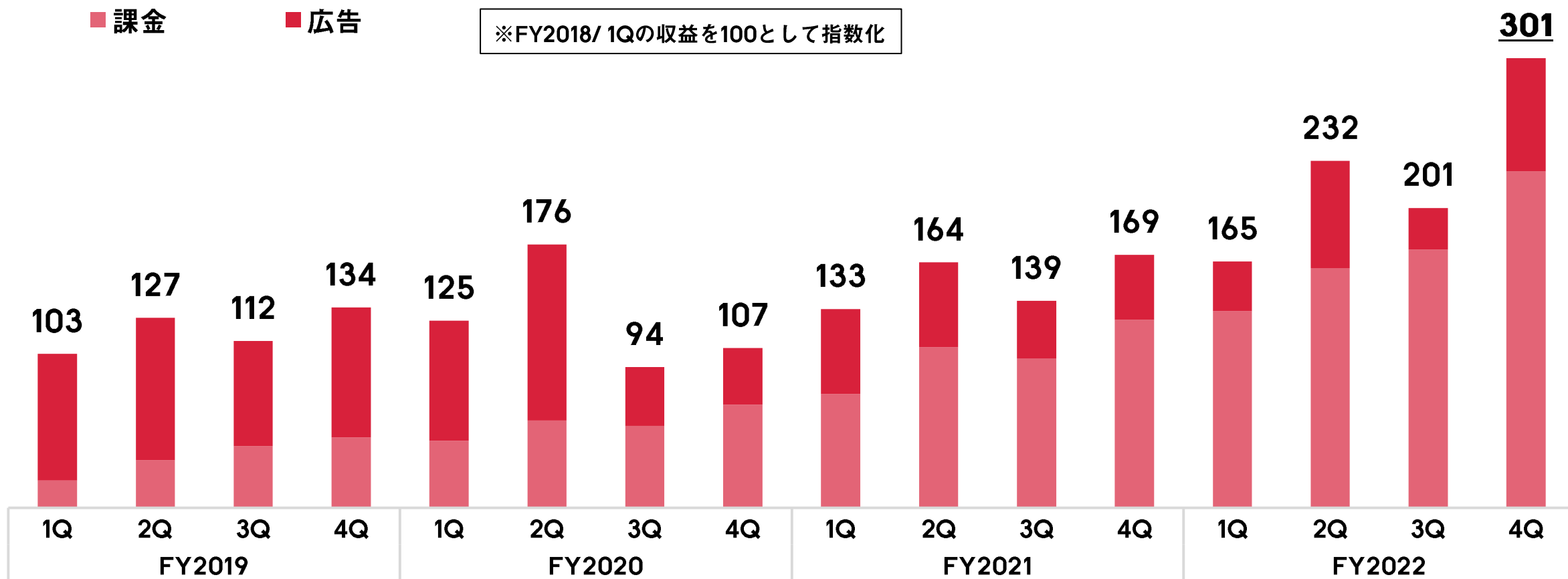
(単位：百万円)	2022年9月期 4Q			2021/ 9期 4Q		2022/ 9期 通期業績予想	達成率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	<b>981</b>	100.0%	+32.8%	739	100.0%	3,800	86.8%
売上総利益	<b>543</b>	55.4%	+37.0%	397	53.7%	—	—
販売管理費	<b>701</b>	71.4%	+1.8%	688	93.2%	—	—
<b>Non-GAAP 営業利益</b>	<b>-142</b>	—	+134	-276	—	-800	—
事業ドメイン拡張の ための投資額*	<b>-19</b>	—	+52	-71	—	—	—

\*新たな事業セグメントへの拡張と位置付けている事業群の営業損益合計額

## トップラインの伸長により赤字幅が大きく縮小



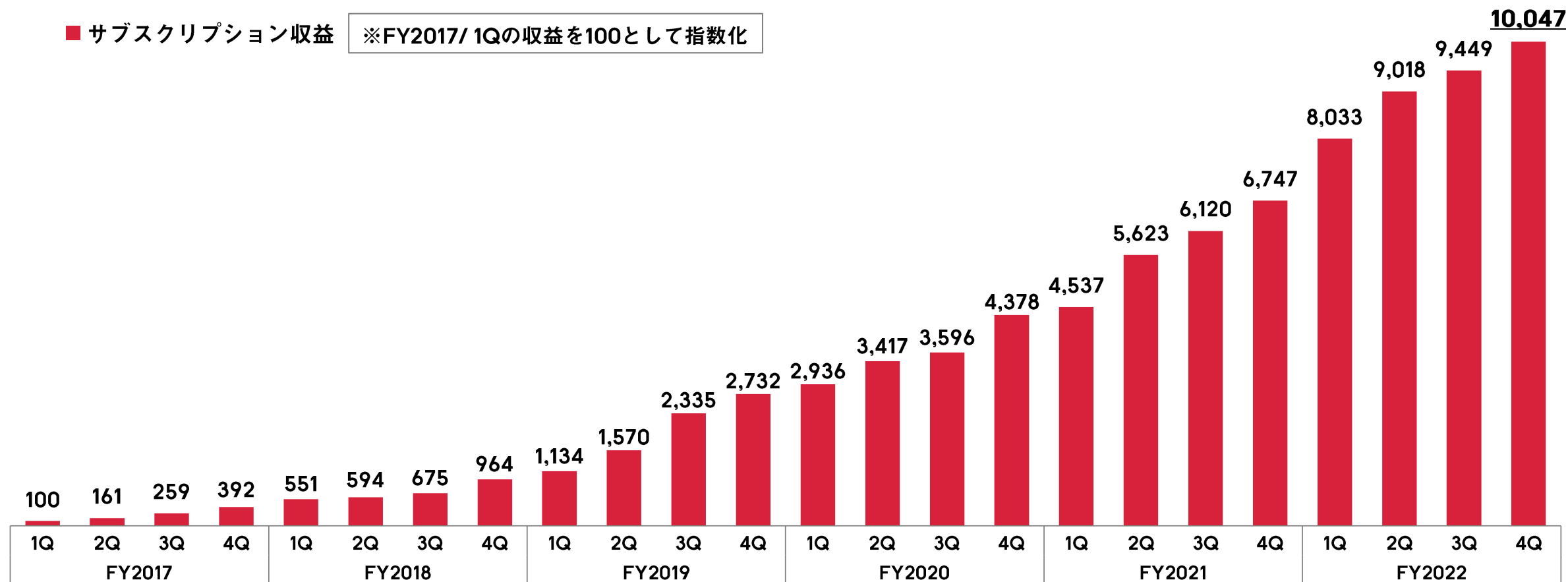
コマース収益を中心に課金収益は大きく成長、  
 広告収益もアニメ案件の納品により拡大



前年同期比で約**1.5倍**の成長ペースを維持し、  
ユーザ数は右肩上がりに増加

■ サブスクリプション収益

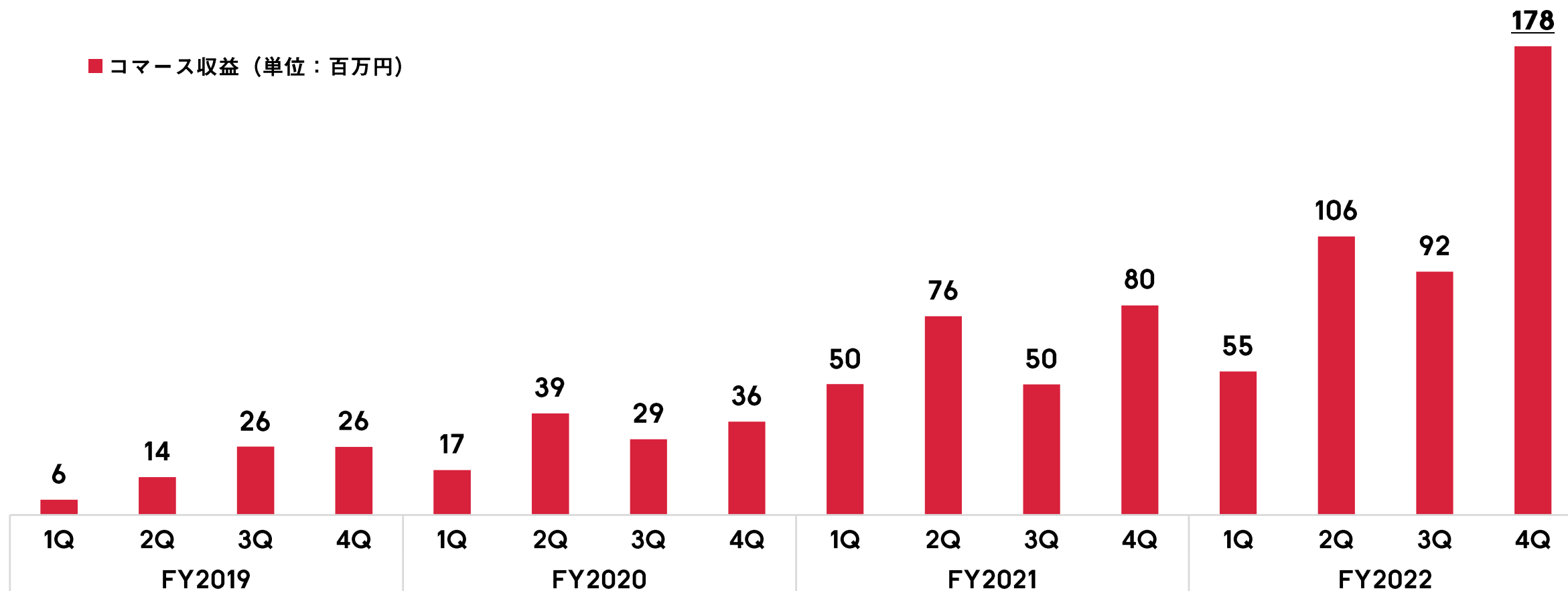
※FY2017/1Qの収益を100として指数化





GANMA!人気作品のIP価値が高まり電子書籍の販売が増加、  
コマース収益は前年同期比で約2.2倍と大きく成長

■ コマース収益 (単位：百万円)



※コマース収益：電子書籍、クラウドファンディングを合計したコンテンツ販売収益

## GANMA!の大人気作品『山田くんとLv.999の恋をする』のTVアニメ化が決定、さらなる認知度向上による収益貢献を見込む



### ■アニメ情報

- ・2023年放送予定
- ・企画製作：アニプレックス  
アニメーション制作：マッドハウス  
キャスト：水瀬いのり、内山昂輝 ほか

### ■『山田くんとLv.999の恋をする』について

- ・GANMA!での総PV数：45億回以上
- ・累計発行部数\*：160万部突破
- ・「第6回みんなが選ぶTSUTAYAコミック大賞」  
大賞受賞

05

中期經營方針

## 既存ドメインの拡張

デジタル  
マーケティング  
事業

EC広告領域の展開強化  
データ・ソリューション領域のグループ体制拡充

電通グループとの資本業務提携の深化

メディア  
プラットフォーム  
事業

ユーザ課金領域への注力  
D2C領域の事業開発を強化

新たな事業  
セグメント

業界フォーカスによりDX需要を取り込む  
HRテクノロジー領域の事業化

新規ドメインへの拡張

## FY2020以降の中期テーマ 「ドメインの拡張」

### デジタルマーケティング事業：DX支援領域の強化

電通グループとの協業深化による  
オンオフ統合サービスの拡大

AIプロダクト、データ・ソリューションサービスの  
展開強化

### メディアプラットフォーム事業：IPプラットフォーム事業<sup>※</sup>の成長加速

保有するIP価値の向上

Webtoon制作体制の強化

### 新たな事業セグメントへの拡張

HRテクノロジー領域の事業成長

エンタメ、スポーツ領域の事業開発を推進

### 経営基盤の強化

理念体系の改編

人事システムのアップデートによる  
人的資本価値の向上

人的資本価値の向上を目的に、2023年4月より  
給与水準の引き上げをはじめとした人的投資を強化

### 固定給ベースアップ

#### 概要

グループ会社9社の正社員を対象に2023年4月よりベースアップを実施、  
全ての資格において一律で年間約80万円（一部資格では年間約100万円）増額



採用市場における競争力を強化し、人的資本価値の最大化を目指す

そのほか、従業員持株会の奨励金付与率の引き上げや新しい働き方やオフィスへの投資も実施予定

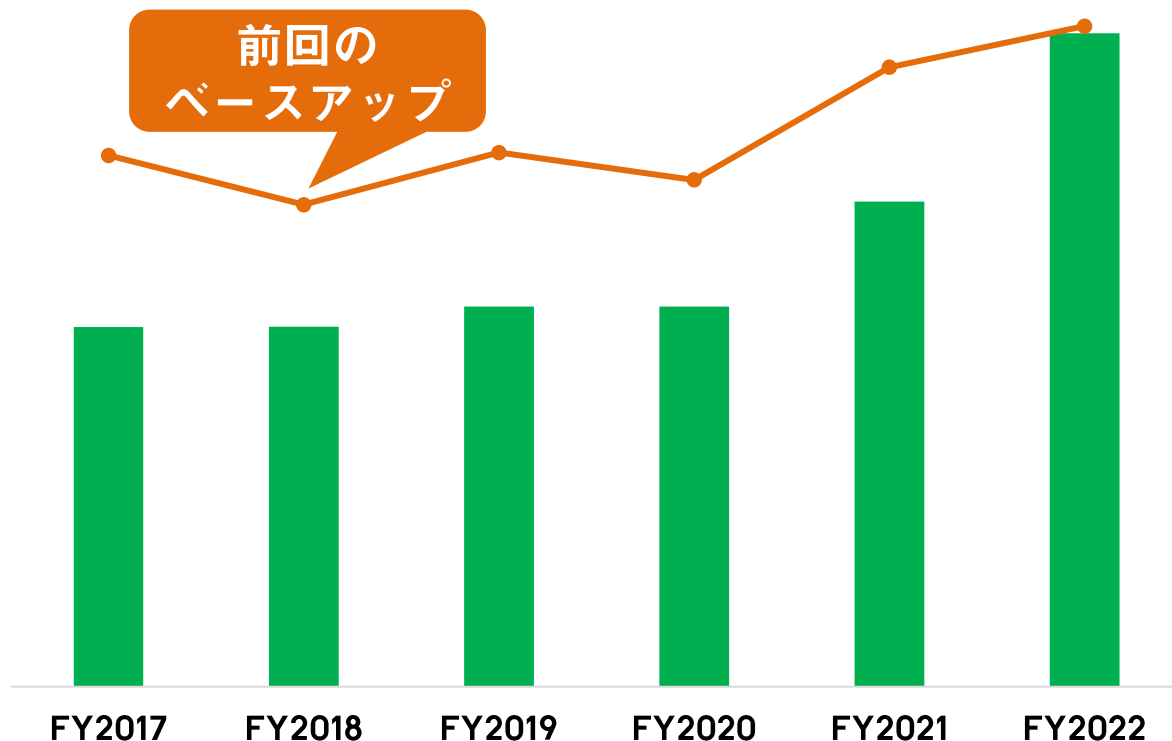
FY2023/3Q以降において約2.3億円/Q、FY2023通期で総額約6.8億円の人的投資を予定

人的資本価値を最大化させ、顧客への提供価値を高めることで、  
持続的な成長を実現し、中長期での企業価値向上を目指す

生産性推移

■ 連結売上

● 一人当たり売上



これまで取り組んできた  
人的資本経営をさらに推し進め、  
中長期での企業価値向上につなげる

FY2018に実施したベースアップでは  
売上、組織規模どちらも拡大させながら  
5年でグループ全体の  
一人当たり売上が約35%上昇

## 起業家人材を育成・輩出していくための環境づくり支援を目的に 「神山まるごと高専」のスカラーシップパートナーに参画

### 神山まるごと高専とは

徳島県神山町に2023年4月開校予定の  
「テクノロジー×デザイン×起業家精神」を  
教育の土台とする5年制の私立高等専門学校



### 当社が奨学金基金へ資金拠出する意義・目的

- 当社ミッション／ビジョン／バリューと「神山まるごと高専」の創業理念の共鳴性
- 奨学金を各学年毎年4名ずつ給付し、共同研究や新規事業の創出に取り組む
- 「神山まるごと高専」に対して、HR領域を中心に事業面・人材面での支援を予定

### 財務的影響

- ・ スカラーシップパートナーとして奨学金基金へ一口10億円を拠出
- ・ P/Lへの直接影響はなし



## DX支援領域の強化を目的に、 and factory(株)と資本業務提携契約を締結

### 資本業務提携の目的

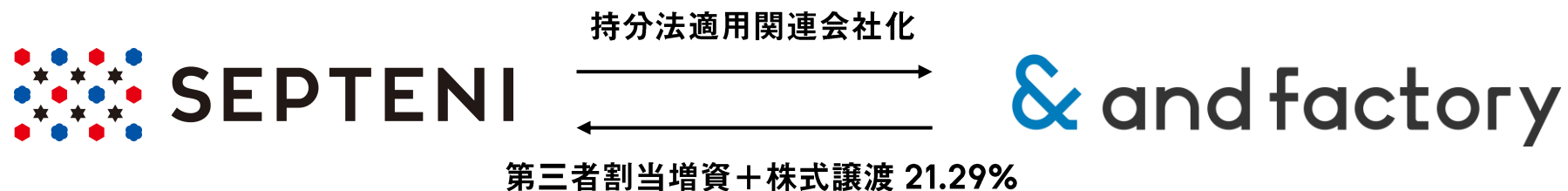
- and factoryが運営するマンガアプリの  
プロモーションにおける連携強化などを通じて、  
デジタルマーケティング事業及びDX領域を強化
- 各出版社の既存IPの価値や流通量の拡大に貢献

### 業務提携の内容

- and factoryの既存マンガ事業での  
広告領域における事業連携強化
- 当社からand factoryへの社外取締役派遣
- DX領域を中心とする、新規事業領域における  
協業検討

### 資本提携の内容

第三者割当増資の引き受けと創業者からの株式譲受により、合計21.29%の議決権を取得



## 目的

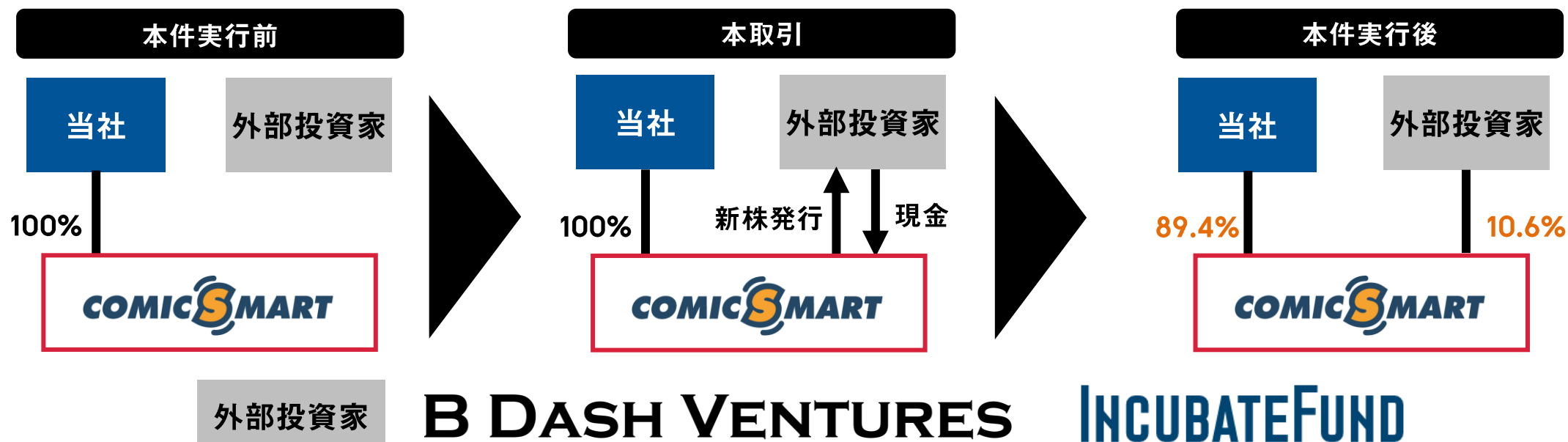
セプテーニHDの企業価値向上に資するコーポレートアクションとして、当社のIPプラットフォーム事業（旧：マンガコンテンツ事業）の成長力強化を目的とした外部からの資金調達を実行

## 経緯

- ・ GANMA!の立ち上げから10年間、当社はこれまでグループ内ファイナンスによりプロダクト、IP・コンテンツ、顧客基盤等の確立・強化のため先行投資を実施
- ・ これまでの取組みにより先行投資期間を経過し、ビジネスモデルや成長戦略の整備が進んだことでさらなる成長力強化のための選択肢が広がる
- ・ 当社が手がける「IP・コンテンツ開発+デジタルプラットフォーム」という垂直統合型の事業構造への関心が高まり、事業を取り巻く環境も大きく変化
- ・ 外部投資家の参画により成長戦略の実行体制を強化、事業価値及び当社の企業価値向上につなげる方針へ

IPプラットフォーム事業※が当社グループ外からの成長投資を受け入れるステージに達したと判断し、本資金調達に至る

当社連結子会社・コミックスマートが外部投資家を引受先とした、総額7.1億円の第三者割当増資を実行、将来的な企業価値最大化を目指し、資本政策・カーブアウト施策を進める



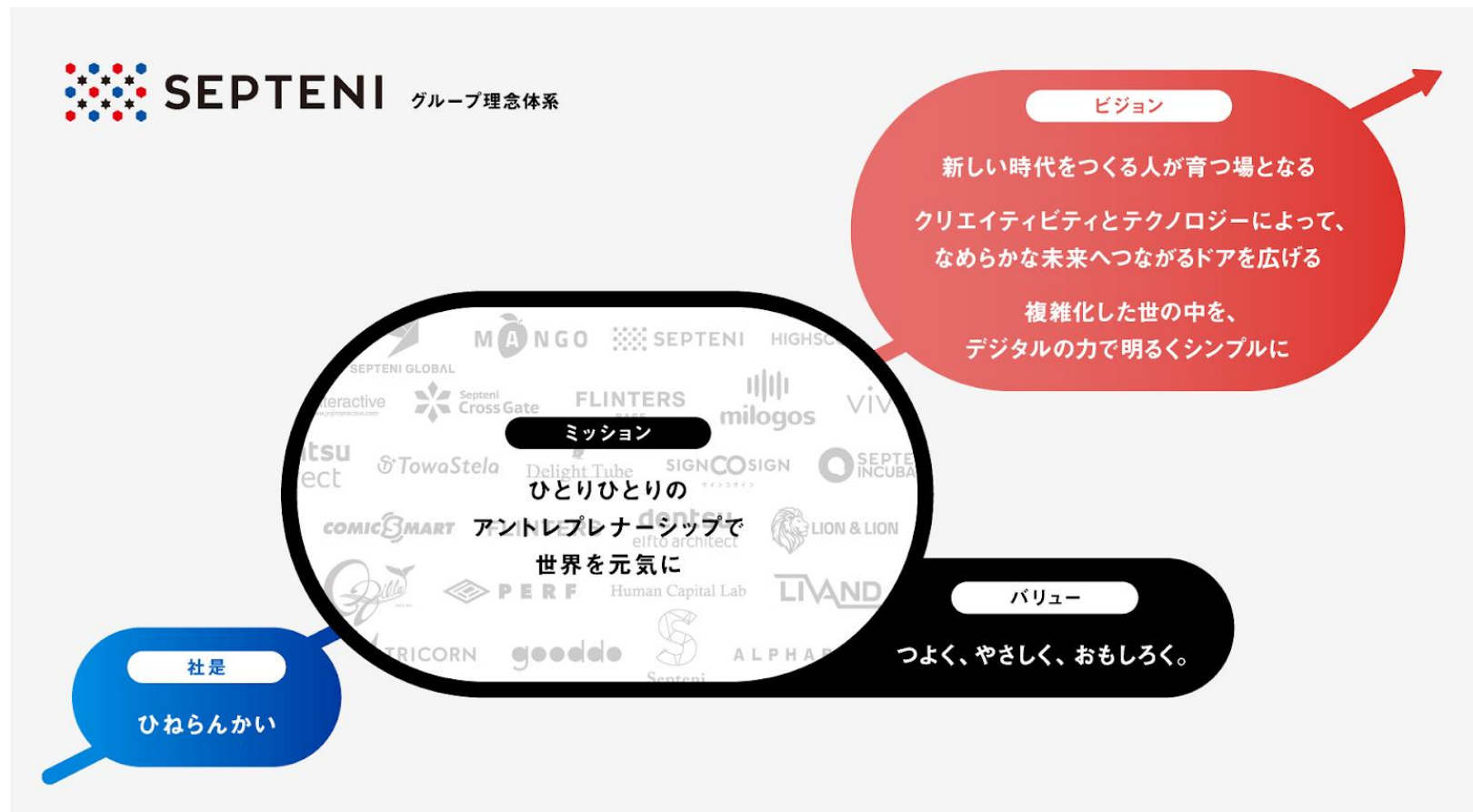
## 主な資金使途

- ・マンガ制作の品質向上やWebtoon作品の開発強化を目的としたIP・コンテンツ開発
- ・マーケティング、販促投資
- ・採用、その他

## グループや社会の環境変化の中で企業価値向上を目指し、 新たなビジョンの策定をはじめ理念体系の改編を実施

### 改編の概要

グループミッションと  
創業からの  
アイデンティティである  
社是はそのままに、  
現在のコーポレートロゴの  
コンセプトをバリュー  
に据え、ミッションと  
事業との接続を強化する  
ビジョンを新たに策定



中長期で目指す姿、果たしたい社会への貢献を言語化し、  
新たなグループビジョンとして掲げる

新たなグループビジョン

新しい時代をつくる人が  
育つ場となる

クリエイティビティと  
テクノロジーによって、  
なめらかな未来へつながる  
ドアを広げる

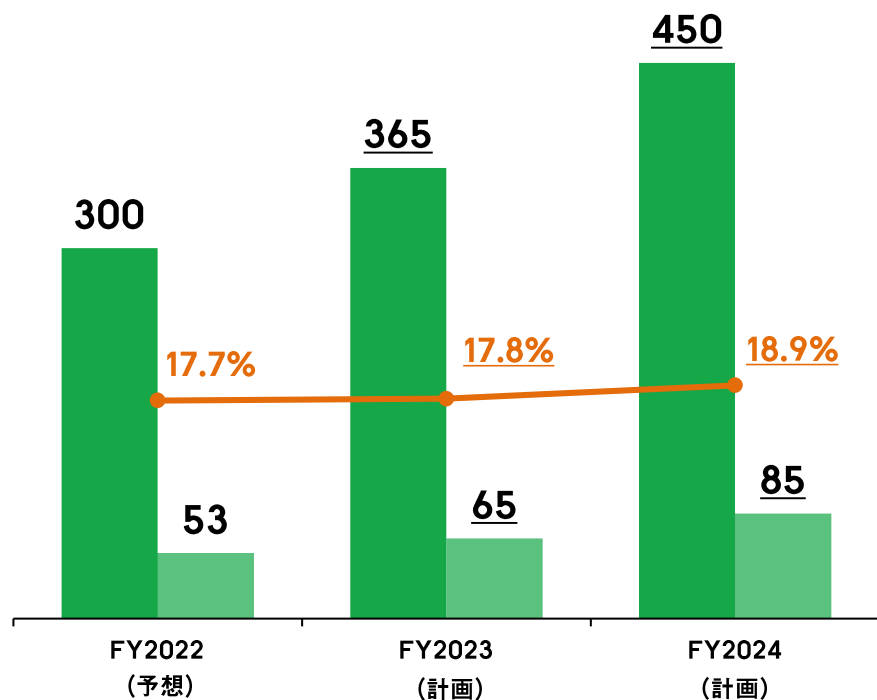
複雑化した世の中を、  
デジタルの力で明るく  
シンプルに



人的資本への積極投資を通じて、長期的な事業成長への実効性を高め  
株主価値・企業価値の向上につなげる

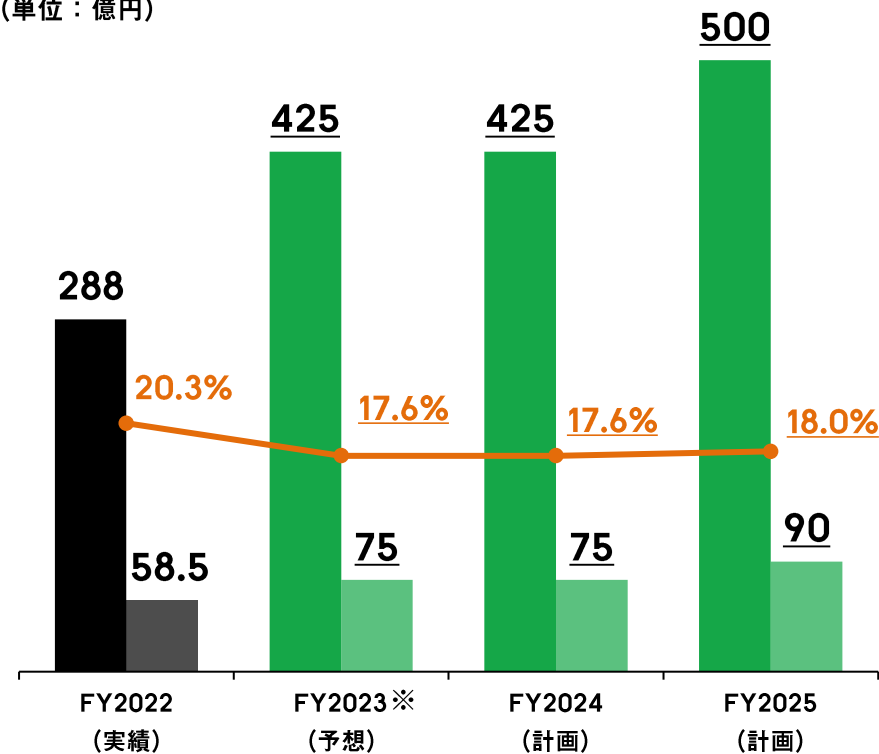
## 連結（アップデート前）

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 ● 営業利益率（対収益）  
（単位：億円）



## 連結（アップデート後）

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 ● 営業利益率（対収益）  
（単位：億円）



※FY2023は変則決算のため、15か月分の予想値を記載

# 06

決算期変更及び業績予想

本年定時株主総会における定款一部変更に関する件について  
承認されることを前提として、決算期変更を実施

期末決算日  
9月30日



期末決算日  
12月31日

### <変更の理由>

(株)電通グループの決算期と統一することで、経営情報の適時・的確な開示による経営の透明性の向上を図り、経営計画の策定や業績管理等、経営及び事業運営の効率化を推進



## 12月期への決算期変更の経過措置として、 2023年度は**15**か月間の変則決算となる

	2022年		2023年			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
9月決算 (変更前)	2022年 9月期	2023年 9月期			2024年 9月期	
12月決算 (変更後)	2022年 9月期	2023年12月期 ( <b>15</b> か月決算)				

株主総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年12月期の定時株主総会は3月に変更予定</li> </ul>
短信公表 決算説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年12月期の第2四半期は2023年5月、期末は2024年2月を予定</li> </ul>

# 42 2023年12月期 業績予想 (連結)



2022年 10~12月 (1Q)	2023年			
	1~3月 (2Q)	4~6月 (3Q)	7~9月 (4Q)	10~12月 (5Q)
<b>2023年12月期 (15か月決算)</b>				

(単位：百万円)	2022年9月期実績	2023年12月期予想 (15か月)	予想成長率 (前期比)
収 益	28,819	42,500	+47.5%
Non-GAAP営業利益	5,855	7,500	+28.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	5,734	5,950	+3.8%
1株あたり当期利益 (EPS) (円)	30.54	28.42	-2.12
【参考】売上高	131,434	180,000	+37.0%

# 43 2023年12月期 業績予想 (セグメント)



デジタル  
マーケティング

メディア  
プラットフォーム

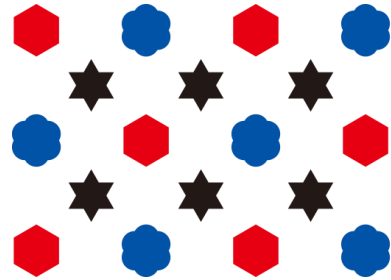
消去・全社

連 結

収 益		
2022年9月期 実績	2023年12月期 (15カ月) 予想	予想成長率 (前期比)
25,862	36,250	+40.2%
3,297	6,800	+106.3%
-370	-550	-
28,819	42,500	+47.5%

Non-GAAP営業利益		
2022年9月期 実績	2023年12月期 (15カ月) 予想	予想成長率 (前期比)
9,211	11,500	+24.8%
-844	-500	-
-2,512	-3,500	-
5,855	7,500	+28.1%

# 本日はありがとうございました



# SEPTENI

**お問い合わせ先**

**セプテーニ・ホールディングス 経営企画部IR課**

**[www.septeni-holdings.co.jp](http://www.septeni-holdings.co.jp)**

**E-mail : [ir@septeni-holdings.co.jp](mailto:ir@septeni-holdings.co.jp)**

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2022年11月10日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません  
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります

07

補足資料

# 46 グループ理念体系



## ビジョン

新しい時代をつくる人が育つ場となる  
クリエイティビティとテクノロジーによって、  
なめらかな未来へつながるドアを広げる

複雑化した世の中を、  
デジタルの力で明るくシンプルに

## ミッション

ひとりひとりの  
アントレプレナーシップで  
世界を元気に

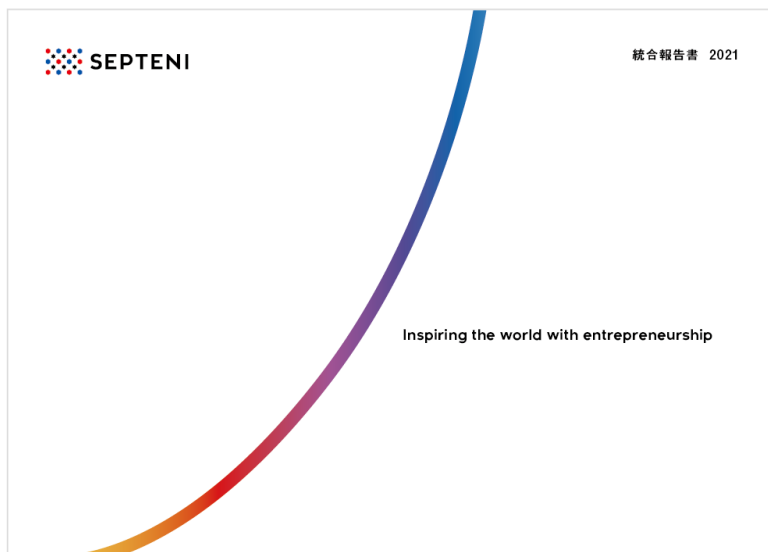
## バリュー

つよく、やさしく、おもしろく。

## 社是

ひねらんかい

# 47 セプターニグループのストーリー



## 統合報告書2021

2021年度版統合報告書を発刊しました  
当社グループの中長期での経営方針と事業戦略、  
事業活動における価値創造の全体像を公開しております

詳細は当社ウェブサイト ([https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/library/integrated-report/integratedreport2021\\_ja.pdf](https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/library/integrated-report/integratedreport2021_ja.pdf))、  
もしくは右のQRコードからご覧ください



## セプターニグループ公式note

2019年12月よりグループの公式noteをはじめました  
統合報告書や開示資料には載せきれていない、  
人やカルチャーにまつわる様々な取り組みを紹介しています

詳細は以下URL ([https://note.com/septeni\\_group](https://note.com/septeni_group))、  
もしくは右のQRコードからご覧ください



## 持続可能な社会及び当社のミッションの実現に向け、 事業を通じた社会課題の解決に貢献する活動を継続

### 当社の取組み

### SDGs

#### 環境

- 印刷用紙の削減
- 積極的なグリーン購入
- 省資源・省エネルギー施策の実施、リサイクルの推進



#### 文化・スポーツ・ エンターテイン メント産業の支援

- トップアスリートの採用。アスリートのプロモーションや競技の振興を支援
- プロサッカーチーム、プロダンスチームの支援
- マンガ家の育成支援



#### ダイバーシティ & インクルージョン

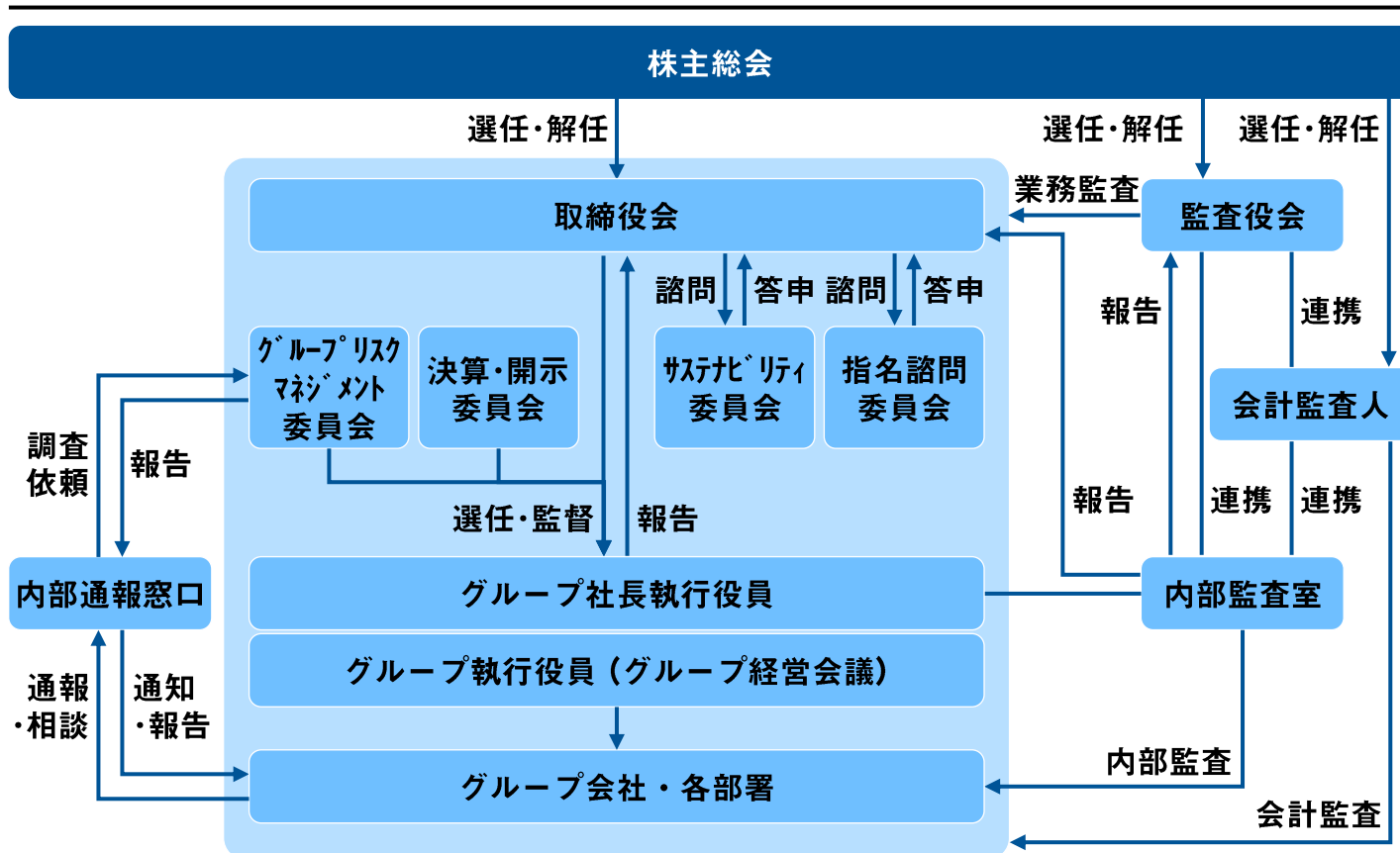
- 取締役会における女性取締役比率は28.6%
- 女性管理職比率目標を改定：2023年10月までに25%  
(前回目標：2020年10月までに17%)
- 育児中の社員に対するサポート、多様な働き方の導入





企業理念・行動規範に基づく行動及び透明公正で効率的な意思決定に加え、法令遵守と企業業績の適切な監督を目的とした体制の整備・運用に注力

コーポレートガバナンス体制図

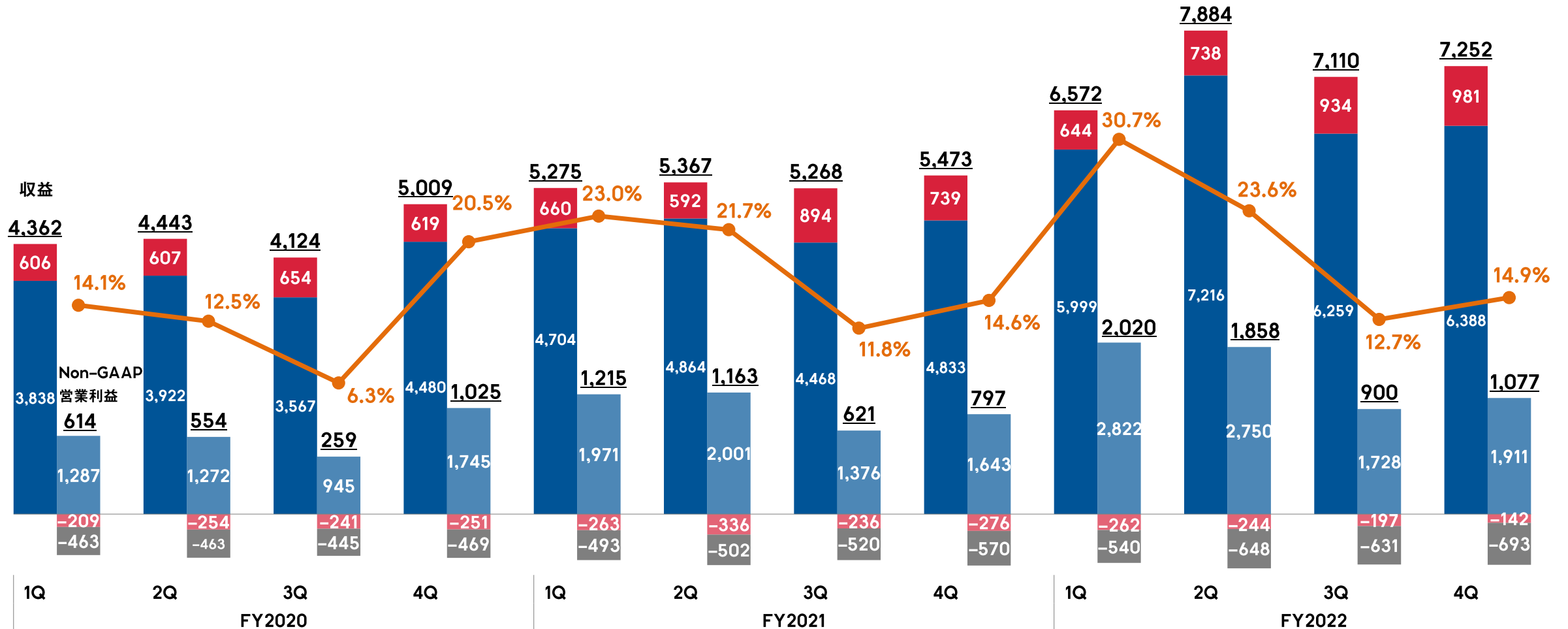


ガバナンス改革の変遷

- 2015年9月期：  
社外取締役を指名
- 2016年9月期：  
取締役会実効性評価を導入  
各種委員会の設置によるチェック機能の強化  
買収防衛策の廃止
- 2017年9月期：  
役員向け業績連動型株式報酬制度の導入  
委任型執行役員制度の導入⇒執行と監督を分離
- 2022年9月期：  
サステナビリティ委員会の設置、ESGへの意識強化  
取締役の独立性・多様性をさらに強化  
(社外比率：71.4%、女性比率：28.6%)

# 50 連結業績四半期推移 (セグメント別)

■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額 (全社費用等) (単位: 百万円) ● 営業利益率 (対収益)



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益 (下線付数値) は一致しない

# 51 デジタルマーケティング事業 四半期推移

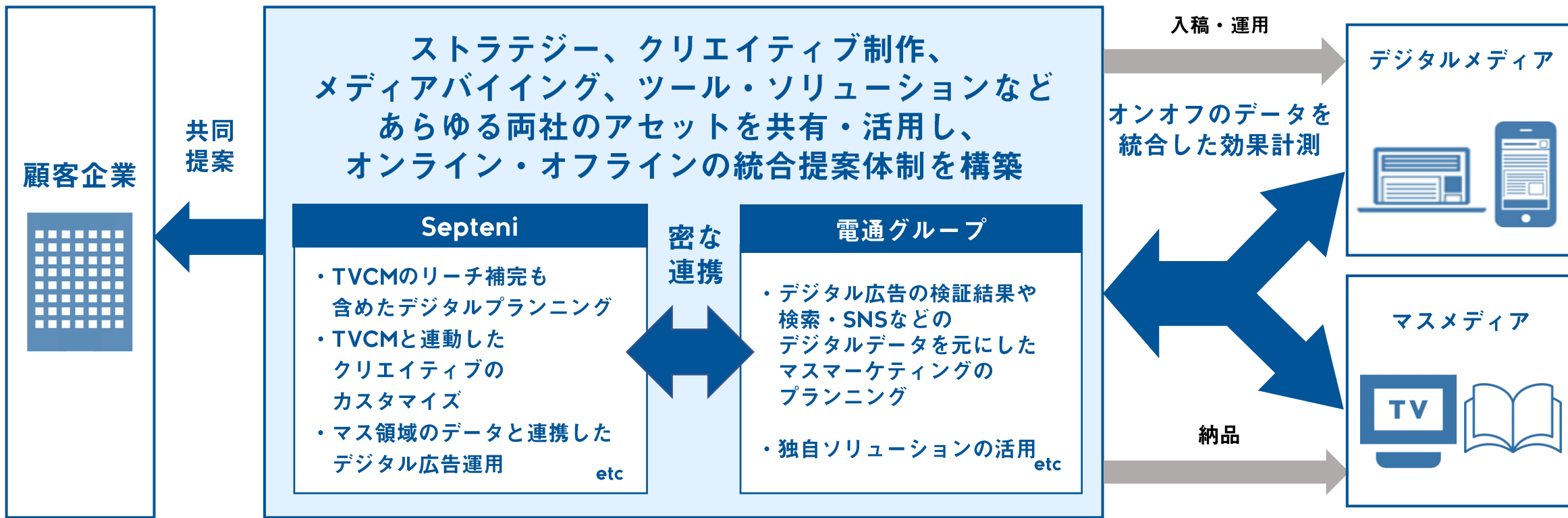
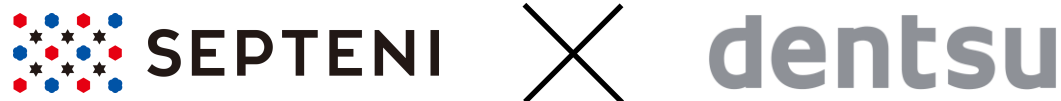


(単位：百万円)

	FY2020				FY2021				FY2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高 (取扱高)	18,770	18,524	16,041	21,393	22,605	24,370	22,791	25,839	29,652	36,294	31,129	31,946
収益	3,838	3,922	3,567	4,480	4,704	4,864	4,468	4,833	5,999	7,216	6,259	6,388
国内収益	3,468	3,702	3,380	4,293	4,429	4,607	4,182	4,536	5,575	6,923	5,863	6,097
海外収益	370	220	187	187	275	257	285	297	424	293	397	290
海外収益比率	9.6%	5.6%	5.2%	4.2%	5.8%	5.3%	6.4%	6.1%	7.1%	4.1%	6.3%	4.5%
収益比率 (対売上高)	20.4%	21.2%	22.2%	20.9%	20.8%	20.0%	19.6%	18.7%	20.2%	19.9%	20.1%	20.0%
Non-GAAP営業利益	1,287	1,272	945	1,745	1,971	2,001	1,376	1,643	2,822	2,750	1,728	1,911
Non-GAAP営業利益率 (対収益)	33.5%	32.4%	26.5%	38.9%	41.9%	41.1%	30.8%	34.0%	47.0%	38.1%	27.6%	29.9%
ブランド広告取扱高 (億円)	15.0	16.9	13.0	18.6	22.9	20.8	23.1	28.1	23.9	24.1	21.1	21.6
ブランド広告構成比	8.0%	9.1%	8.1%	8.7%	10.1%	8.6%	10.1%	10.9%	8.1%	6.6%	6.8%	6.8%
電通グループ協業顧客数	24	35	47	54	57	66	76	80	85	88	88	91
電通グループ協業売上比率	6.7%	7.0%	8.3%	12.6%	11.3%	15.6%	19.0%	25.8%	23.6%	21.8%	19.4%	20.2%

(単位：百万円)	FY2020				FY2021				FY2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
マンガコンテンツ 事業収益 (指数) ※1	125	176	94	107	133	164	139	169	165	232	201	301
サブスクリプション収益 (指数) ※2	2,936	3,417	3,596	4,378	4,537	5,627	6,120	6,747	8,033	9,018	9,449	10,047
GANMA! ARPU (円) ※3	51.3	39.8	31.9	29.9	44.0	75.6	67.7	94.1	63.8	65.5	85.3	167.4
マンガコンテンツ事業 コマース収益	17	39	29	36	50	76	50	80	55	106	92	178
事業ドメイン拡張 のための投資額	—	-1	-3	-14	-12	-63	-56	-71	-51	-58	-32	-19

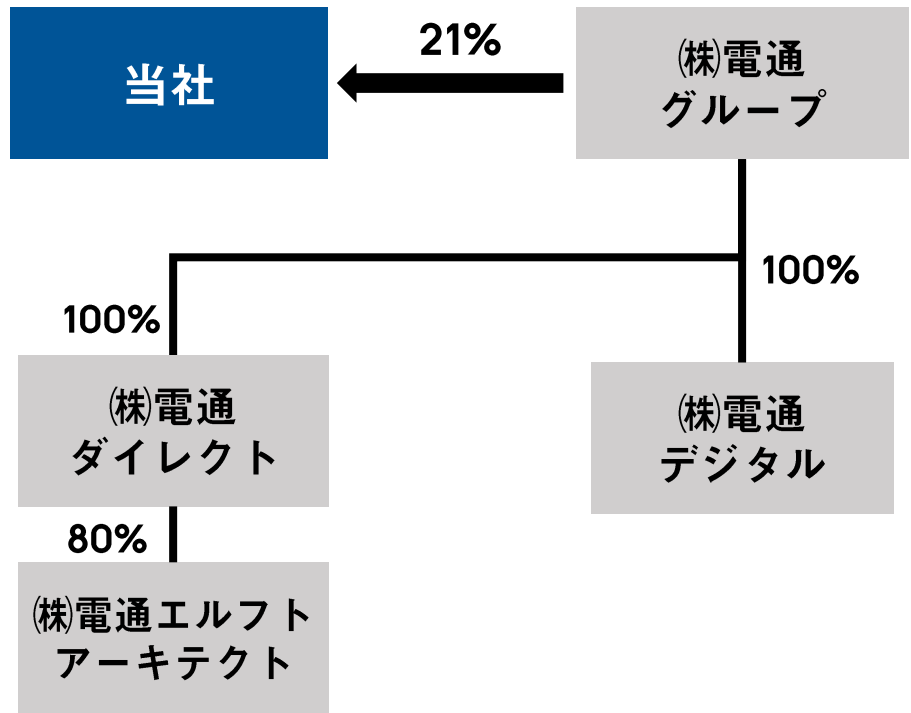
両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の  
統合マーケティング提案（イメージ）



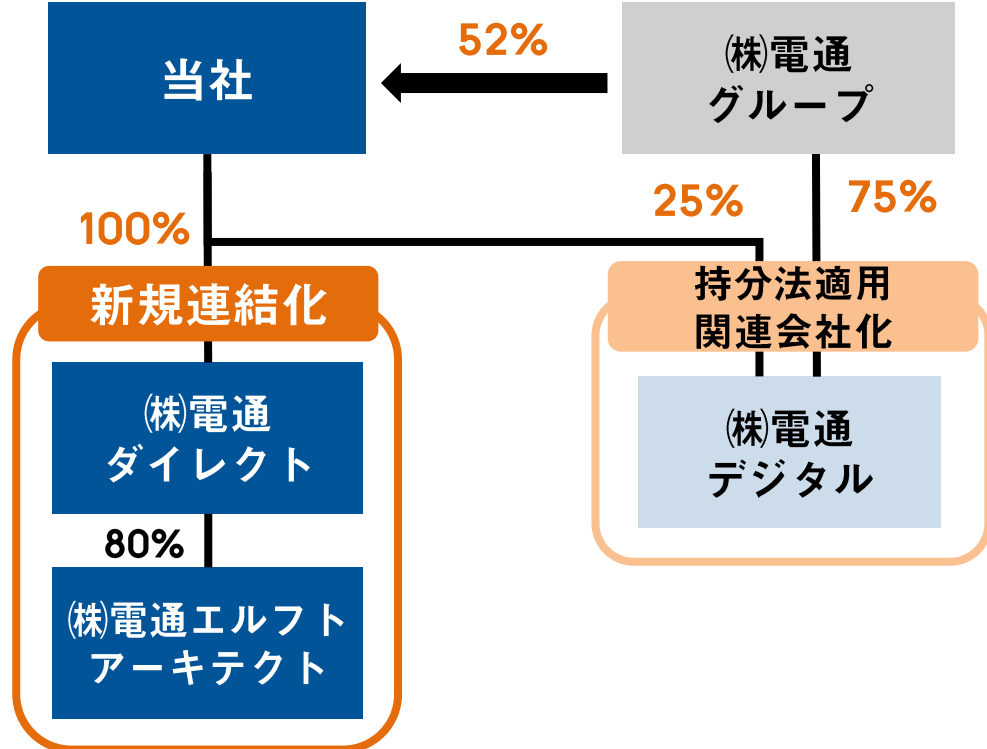
# 54 2022年1月以降のグループ体制

電通ダイレクト、電通エルフトアーキテクトの新規連結化により当社業績へ取り込み、電通デジタルの持分法適用関連会社化により持分法投資利益を計上

## FY2022/1Qまで

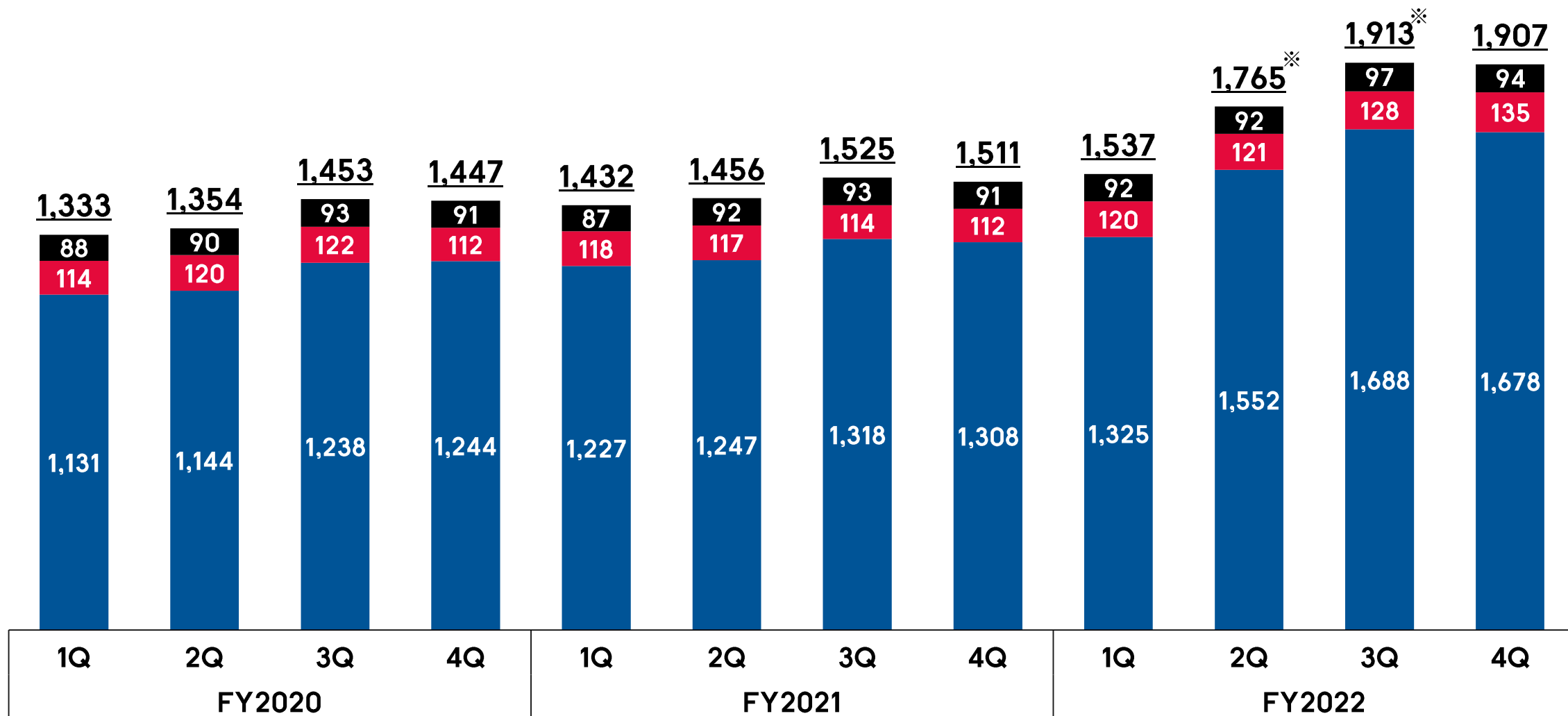


## FY2022/2Q以降



# 55 連結従業員数推移

■ デジタルマーケティング事業 
 ■ メディアプラットフォーム事業 
 ■ 持株会社 (単位：名)



※新規連結従業員数の見直しにより、FY2022/2Q、3Qの数値を遡及修正

## デジタルマーケティング事業

国内広告

データSOL

海外広告



FLINTERS



dentsu  
direct



## メディアプラットフォーム事業



vivivit



TowaStela



その他事業

新規事業創出

持分法適用関連会社

Human Capital Lab



DENTSU  
DIGITAL

PRIME  
CROSS

& and factory

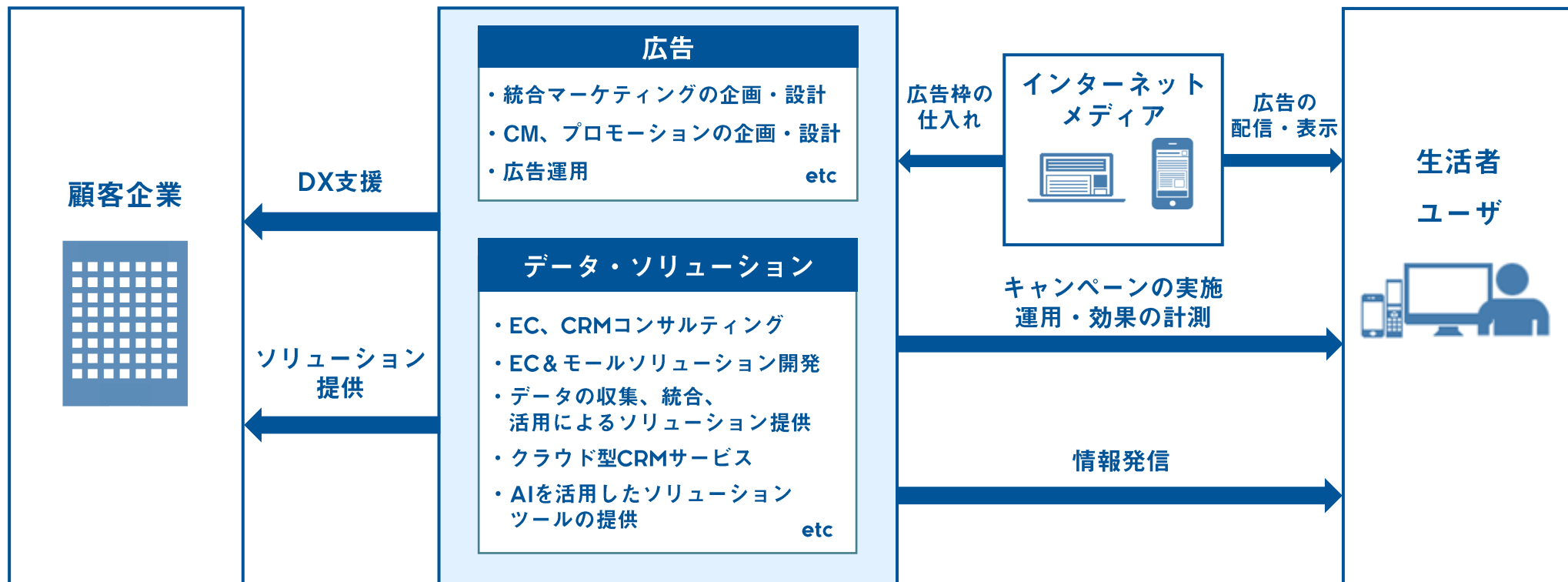
セプテーニ・ホールディングス (持株会社)



デジタル広告の販売と運用をはじめ、データ、AIを活用したソリューションの提供、電通グループとの提携によるオンライン・オフライン統合によるマーケティング支援等、デジタルマーケティングを中心として、

**企業のデジタルトランスフォーメーション (DX) における総合的な支援を行う**

## デジタルマーケティング事業



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP(知的財産)の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「育児」に関するプラットフォーム型の事業等を展開



(単位：百万円)

	2022年9月期 期末	2021年9月期 期末	増減
流動資産合計	40,585	33,452	+7,134
非流動資産合計	48,146	8,560	+39,586*1
<b>資産合計</b>	<b>88,731</b>	<b>42,011</b>	<b>+46,720</b>
流動負債合計	25,206	20,329	+4,878
非流動負債合計	771	3,237	-2,467
<b>負債合計</b>	<b>25,977</b>	<b>23,566</b>	<b>+2,411</b>
資本合計	62,754	18,445	+44,309*2
<b>負債及び資本合計</b>	<b>88,731</b>	<b>42,011</b>	<b>+46,720</b>

\*1 電通デジタル株式取得による持分法適用関連会社化に伴い、持分法で会計処理されている投資が32,256百万円増加

\*2 第三者割当増資と株式交換の実施により資本金が16,303百万円、資本剰余金が21,364百万円増加